

令和6年度ひろしま自然保育推進事業 活動報告書

- 活動報告書は、HP で公表しますので、公開可能な内容としてください。
- データのサイズは、写真を含め、8M以内に収め、ワード文書にて提出してください。
- こちらの報告書フォームに沿って全て記入してください。

令和7年3月21日

団体所在地 世羅郡世羅町大字小国 4495-1

団体の名称 世羅町立せらにし保育所

職・氏名 係長 稲福 裕子

1 活動報告

【4月～6月】(春季)

(活動内容)

- ・近くの消防署に咲いているチューリップの見学に徒歩で行く
- ・近くの八幡神社や広場へ散歩(七草探し・草花つみ)
- ・菜園活動(畑作り・苗植え)
- ・あぜ道散歩(めだか・おたまじゃくし)
- ・裏山あそび(ターザンロープ・ハンモック)

【7月～9月】(夏季)

(活動内容)

- ・菜園活動(収穫)
- ・どろんこ遊び
- ・プール・水遊び・植物色水遊び
- ・虫探し・虫捕り・
- ・山探検
- ・笹の葉運び
- ・参観日(自然あそび)

【10月～12月】(秋季)

(活動内容)

- ・裏山あそび(ドングリなどの木の実拾い・木の枝・葉っぱで遊ぶ・山で見つけたものでアレンジメント・リース作り・ケーキ作り・ターザンロープ・ロープにぶら下がる・ハンモック・木登り・木の実ころがしなど・紅葉狩りおやつ・11月誕生会)
- ・小枝集め→焼き芋パーティー
- ・夢公園に遠足(芝滑り・どんぐり拾い)
- ・自然保育アドバイザー研修

【1月～3月】(冬季)

(活動内容)

- ・雪遊び(雪玉作り・雪合戦・雪だるま・雪でままごと・雪でいろいろな形づくり・そり遊び)
- ・たこあげ
- ・裏山あそび(「春見つけ」 ふきのとう・水仙・よもぎ・つくしなど)

活動報告（詳細）

【4月～6月】

（写真）



（エピソード記述）

【おたまじゃくしがおった！】

・あぜ道を散歩しながら、めだかを探していると、田んぼの中におたまじゃくしを発見。(メダカはいなかった)

・翌日、網と飼育ケースを持ち再び田んぼへ。濁った水に悪戦苦闘。「かえるは頭がいいけえ、人が近くにきたら逃げるんよ」とKくん。やっと捕まえたおたまじゃくしは、泥水の中でじっとしている。

「かくれんぼが上手じゃね～」とHちゃん。

・結局、保育所に3匹持ち帰り、大きなタライに入れて育てる事に。「おたまじゃくしは何を食べるん？」分からないことは図鑑で調べて、毎日観察。体から足と手が出てしっぽが取れて、カエルの姿になるまで、ワクワクしながら成長の不思議をみんなで観察できた。育ったカエルは2匹。しばらく園庭で元気な姿をみせてくれていた。

【7月～9月】

（写真）



（エピソード記述）

【自然であそぼう！親子であそぼう！】

・ジップロックで作った「森の宝物入れバック」を持って、親子で裏山周辺を探索。講師に「ほしはら山の学校」の浦田愛さんに自然遊びの魅力と楽しさを伝えていただく。

・木の実や枝、葉っぱや花などでごちそう作り。急遽7月生まれの誕生会をすることになり、Rちゃんを囲み『ハッピーバースデー』を歌ってお祝いをした。木の実のごちそうと歌声と森の空気感が一体となって、異空間の誕生会だった。

・神社の奥まで移動し、年中児が不思議なキノコを発見！！「これは新種のキノコじゃない？」と親子で盛り上がり、土に埋まって顔を覗かせているキノコまで近づくと、なんとそれは赤紫色の“くまのぬいぐるみ”だった。残念。今回は新種のキノコは発見できなかったが、山遊びを重ねていくうち、きっと新種のキノコも見つかる予感のする1日だった。

【10月～12月】

(写真)



(エピソード記述)

【行ってみよう！】

・10/21に自然保育アドバイザー（森林ボランティア団体もりゆう代表 原山恵さん）研修を受ける。
・以上児は山探検。獣道から山の中へ入る。慎重派の子どもたちは、ドキドキ。冒険派のこどもたちはどんどん先へ。山の中は薄暗いイメージだったが、落ちていた笹の葉に上から光が射して、意外と明るく「広い！」「葉っぱがきれい！」「サクサク歩いたら音がする」と子どもたちも5感をたっぷり感じて遊んでいた。

・問題はここから。山の中なので帰る方向が分からない。「どうする？」「保育所どっちかね？」「保育所を探せばいいんじゃない？」「あっ！！あっちに保育所の屋根が見える」「行ってみよう」「あった～！！あっちじゃ！！」方角を自分たちで考え相談して何処へ向かえばいいのか相談・共有ができた年長児の成長がみられた日だった。

【1月～3月】

(写 真)



(エピソード記述)

【春見つけ】

・3月上旬、裏山へ春探しの探検に行く。
「もしかしたら、フキノトウがあるかも！」と年長児。
地面には枯葉の布団が敷き詰めてあり、なかなか見つけれない。やっと黄緑の葉を見つけられたと思ったら、たんぼぼだった…。

上側では見つからず、陽当たりのいい下側斜面に降りるとフキノトウを発見。

「あった！」「こっちにも見つけた！」「何個あるんかね？」「花が咲いているのもあるよ」「これは食べれんぶんよ」（小さいクラスの友だちに）「ここにあるよ。採ってもいいよ」

急な斜面は保育士が手伝い、たくさん収穫。数字が好きな年中児を中心にみんなでフキノトウの数を数えてみる。全部で40個。次の日の給食で、天ぷらにしてもらい、ほろ苦い春の味をみんなで堪能した。

2 その他（自然体験活動の実施における今年度のプロセス）※記入必須

- ・ 職員の資質向上について

自然保育のアドバイザーさんに来て頂いて、保育の中での自然遊びの研修を受けた。

- ・ 地域との関わりについて

地元の JA 女性会の方と一緒に菜園活動(苗うえ・収穫)をした。

- ・ 保護者との関わりについて

保育所での菜園活動をして、野菜の生長を一緒に見てもらう。

保育参観日に「自然であそぼう！親子であそぼう！」というテーマで自然遊びを一緒に体験してもらう。

*より詳しく活動をアピールしたい施設は、ホームページや SNS の URL をご記入ください。

URL	
-----	--